



わかば

2018. 8. 10, 11
第18-15号(合併号)
文責 校長 信國 寿敏

ホームページ <http://www.shokookai.org/gakkou.htm> 毎週火曜日更新

重点目標 一人一人が輝く教育 ～期待登校・満足下校～

「毎年、この時期は出席する子が少ないんですよ。」・・・いったいどのくらいなんだろう？

多くの方々から、毎年この時期は出席する子どもたちが少なくなると聞いていましたが、昼食時の空席の様子から、本当に少ないことを実感しました。そこで、いったいどのくらいの出席状況なのか、調べてみました。

7月21日(土)は、6月30日以降の転出、転入などもあり総数356名に対して、240名の出席でした。(欠席 116名)

【表1 過去4年間の運動会参加児童生徒数】

年度	開催日	総数	参加者数	割合
2015年度	6月27日	382	284	74%
2016年度	6月25日	390	289	74%
2017年度	6月24日	384	301	78%
2018年度	6月30日	368	259	70%



空席が目立つカフェテリア 7/21

さて、本日8月10日は、どのくらいの子どもたちが元気な声を校舎内に響かせるのでしょうか。日本やアメリカ国内外の楽しい土産話が、教室やカフェテリアで聞くことができれば、嬉しい限りです。子どもたちの作品にも見物、観光の話題が増えてきています。観て、聴いて、感じて、味わって見聞を広げた喜びや驚きなどを作品として掲載できればと願っています。

PNF様、WACOM様、ありがとうございました。・・・6年生からの感謝の寄せ書き



6年生が6月27日(水)に社会科見学をさせて頂いた「Pacific Nutritional Foods, Inc」様、「WACOM Technology Services Corporation」様に、子どもたちの感謝の寄せ書きをお送りいたしました。社会科見学の目的である、その場所でないと見られない、感じられない、味わえない、聞けない、嗅げない等、五感で感じとった内容と感謝の気持ちが、寄せ書きに書き込まれていました。次号のわかば16号に、子どもたちの社会科見学を終えた作文の一端を掲載する予定です。

児童生徒の作品紹介 IX



今回は、3年生の「気になる記号」の報告文、そして、4年生の夏にふさわしい「すいかわり」を題材にした俳句を紹介します。

なお、次回は1年生、6年生を予定しています。 校長 信國寿敏



〔4年生 俳句〕

すいかわり	すいかわり	すいかわり	すいかわり	すいかわり	すいかわり	すいかわり
なががあかいな	外がわ緑 中ピンク	わったら食べる	きれいに二つに	じょうずにわれて	すいかかわれた	とてもたのしい
嶺山 桃	桑原 優奈	室井 和美	鈴木 音瑛	古屋 尊	うれしいな	うれしいな

「すいかわり」を題材に、男子は、すいかわりのそう快感、喜びを表現し、女子は、味覚や視覚を表現しているところが、実に面白いですね。

俳句で、すいかわり、すいかわりと、これだけぱっさり割ってもらったら、すいかも本望ではないでしょうか。

アメリカのすいかは、どれを買ってもはずれがないほど、とても美味しいと思いますが、いかがでしょうか。



車いすの記号
三年 佐伯 悠斗

ぼくのクラスは、記号のことを国語の授業でなりました。ぼくたちは記号をさがすことになりました。

ぼくは、お母さんと図書館に行って記号をさがして写真をとりました。ぼくは、車いすをえらびました。ぼくは、車いすの写真を見て、すぐ何かわかりました。その記号は、車いすの人が図書館のドアをあけられない時のボタンをしめしていました。

もう一つ分かったことは、絵に車いすがかいてあったことです。くふうされていたことは、車いすの人がとどかない場所にあるとこまるので、ひくい所にボタンがつけてあることです。たいせつなことは、ボタンの前に物がおいてあったら、車いすの人がおせないから、ボタンの前に何もおかないように気をつけないといけないと思いました。

一つの色で二つ知らせる
三年 上掛 晴紀

ぼくは、この勉強をして、ぼくたちのみのまわりには、記号がたくさんあると気づきました。ぼくがえらんだのは、次の記号です。



この記号は、交差点のはしで見つけた記号です。

まず、ぼくが見てほしいのは、この赤色です。赤色は血の色だから、けいこくしていることをしめしているそうです。

次に、赤色は遠くからでも目立つからだそうです。ぼくはいろいろな記号をしらべて、それぞれ工夫されていることがわかりました。よく考えられていて、おもしろいなと思いました。



車いすの記号を調べることを通して、障害を有する方々の目線でボタンの位置などをとらえていることなどから、優しい思いやりの心が育まれていることがよくわかります。

もう一つのSTOP標識は、文字通り「とまれ」を表し、文字を読むことができれば、何を伝えたいかは、すぐにわかりますが、命にかかわる重大の標識であることを、運転する者に対して、色で表していることに着目したことは実に素晴らしいですね。

記号が大切なことを知らせている

三年 原田 琴美

わたしたちが行っている学校や、すんでいる家の中には、たくさん記号があります。意味が分からないいろいろな記号が、何をつたえているか、何を表しているか、なぜあるか、あとどことなくふうがされているかを調べました。

調べ方は、家の人に聞いたり、家の人分からないことは、パソコンやスマホで調べました。わたしは思ったこともつたえました。わたしがえらんだのは次の記号です。



これは、ふくのタグについていた記号です。この記号は、アイロンの形をしていて、この絵では、丸が二つありますが、この記号には、いろいろなしゅるいがあります。一つの丸は、だいたい110℃です。二つの丸があるときは、だいたい150℃です。ほかにもいろいろなしゅるいがあります。この記号が表しているのは、ふくをどのくらいのおんどでアイロンをすればいいかです。おんどは中の丸でわかりますが、タグにもおんどは書いてあります。この記号を見て、すぐにアイロンのおんどに気がつくようになりました。なぜかという、タグに温度が書いてあったし、アイロンの形だったからです。中の丸は、一つから三つあります。

わたしは、この記号を調べて、とても楽しかったし、少しつかれました。でも、この記号を調べてよかったなと思いました。なぜかという、いろいろなきごうがある中、一つだけでも記号を調べられたからです。



しかの記号

三年 大洞 成未

わたしたちの国語のじゅぎょうで、記号のことについて調べることになりました。その記号が何をつたえるやくわりをしているか、どことなくふうがされているかを調べました。

見つけた記号を紙にうつし、何をつたえようとしているかを考えました。そのときに気づいたくふうも書き出しました。分からないことは、後で家の人に聞きました。

わたしは、しかの絵が書いた記号について調べました。その記号の色は、黄色で、どうろにあるとてもめだつ色だと思います。そして、その形はひしがたです。

この記号は、しかがとび出して来る事があるので、気をつけてうんてんするという意味をしめしているそうです。

わたしは、記号がいろいろな意味がある事が分かりました。ひょうしきの色で意味がちがうんだなと気づきました。これからももっと記号の意味をおぼえたいと思います。



アイロンの記号は、なかなか自分でアイロンかけをすることがないので、丸の数が温度を表していることを初めて知りました。良く工夫された記号だなと感心しました。

また、しかの記号は、日本国内やオレゴンでもたびたび見る機会がありましたが、アメリカの交通標識を検索する中で、馬車の記号やムースの記号など、その土地ならではの記号が多くあることを知り、他にも何かあるのかと探求する心が膨らみました。

【報告文を通して】

三年生の報告文を通して、実に勉強になりました。「そんな意味があったんだ」「そうだったのか」「他には、どんなものがあるのかな」と、思わずつぶやく内容ばかりでした。報告文に挿入する写真を探したり、内容確認をしたりしていく過程で、あらためて気づいたり知ったりすることが多くありました。三年生の子どもたちが、一つの記号を調べることを通して、記号に関心を持ったように、多くの読み手も記号への関心が高まったものと思います。



ガイザー

二年 カーステンズ えりこ
わたしは、イエローストーンで、ガイザーを見ました。ガイザーがさいよぶくぶく小さくふき出したとき、わたしは、とてもわくわくしました。たくさんのひとが見ていました。
しばらくすると、ザーブンという音がしてガイザーがブワーとたくふき上がりました。シュー、ドカーンという音がして白い色でした。生まれてはじめてみました。すごかったです

運動会のこと

二年 くわはら しょうじ

六月三十日に運動会がありました。ぼくは、赤ぐみでした。一ばんころにのこったことは、三つあります。
一つ目は、大玉ころがしです。ぼくのかおの高さくらい大きなボールを、ころがすところがおもしろかったです。

二つ目は、つなひきです。いっしゅうけんめいにひっぱったけど、まけてしまいました。たのしかったですけど、くやしかったです。
三つ目は、おべんとうがおいしかったです。
赤ぐみがまたかって、うれしかったです。



がんばった日

二年 よしはら りんか

六月三十日はうんどう会でした。わたしは、赤ぐみでした。うんどう会では、玉入れ、ときょうそう、つなひき、せんたくものほしりレーと大玉ころがしに出ました。
赤ぐみが、かったのはせんたくものほしりレーだけでした。わたしは、ときょうそうで三ぼんでした。いっしゅうけんめいにはしりました。それでも、赤ぐみがかってうれしかったです。

大玉ころがし

二年 大石 見虎



ぼくは、大玉ころがしが大好きです。れんしゅうのときに、海くんをおいて行ってしまいました。でも本ぼんでは、二人で力を合わせて大玉ころがしました。
「よくできましたね。」

と先生が言いました。ぼくは、ほめられてうれしかったです。一、二年生の大玉ころがしは、白組が勝ちました。
まけてくやしかったけど、いっしゅうけんめいがんばったので、たのしかったです。

うんどう会

二年 上中 星來



六月三十日、日本人学校のうんどう会がありました。一ばん思い出にのこっていることは、ときょうそうです。わたしは、はしることが好きなので、少しじしんがありました。
しかし、はしろうと思ったら、くつがぬげてしまいました。
「くつ下のままでしょって」
と、先生のこえが聞こえました。
わたしは、いそいではしりましたが、一ばんになれなくて、とてもくやかったです。今では、一ばんになれるようにがんばります。



もうすぐ64歳を迎えますが、小学校6年生の時の運動会での悔しい思い出は、今でも覚えています。1960年代後半は、町内の対抗意識が非常に強く「町内対抗学団リレー」は花形種目でした。中学年時代から選抜されていたので、6年生最後の学団リレーもと意気込んで選考会に臨みましたが、惜敗しました。その時の悔しい思い出は、今となってはよき思い出となっています。

子どもたちも、勝ち負けの悔しさ、褒められた時のうれしさなどを味わい素直に書いています。何よりの楽しみであるおべんとうが美味しかったことは、時代が変わっても大いに共感できます。

目の前の間欠泉の迫力、轟音に圧倒された様子も良く伝わり、一度は見たいものだと思います。